

未来へ向けて 魅力あるまちをつくる

佐用町長 庵 途 典 章



平成17年10月1日に新たな「佐用町」が誕生し、このほど10周年の節目を迎えることとなりました。皆様には、町政の推進にご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。この10年間、町は地域のもつ豊かな資源や魅力を活用しながら、「ひと まち 自然がきらめく 共生の郷 佐用」を将来像に、協働のまちづくりを進めてまいりました。特に、子育て支援や教育環境の充実、町内の情報通信基盤の整備、公共交通機関の充実、太陽光発電や広域ごみ処理施設の建設による循環型社会環境の推進など、心豊かな社会と生活の基盤づくりに取り組んでまいりました。

その中で起こった平成21年8月の豪雨災害は、町に大きな傷跡を残しました。この災害によって多くの尊い命が失われ、町内の1,700戸以上の家屋が損壊し、河川・道路・農地・公共施設・事業所・店舗など、私たちの暮らしに大切なものが甚大な被害を受けました。以降、町は災害に強いまちづくりと創造的復興に向けた災害復興計画を策定し「絆からはじまるふるさとの復興」をかかげて、大規模な河川改修や治山砂防工事などの防災対策とともに、生活基盤の再生と地域の活力向上を、町民一丸となって推進してまいりました。

そして今、加速する少子高齢化や人口減少と厳しい行財政環境の中で、地域の個性や特性を活かしたまちづくりが強く求められています。町は、合併10周年を機に、人と人との絆をさらに深め、誰もがこの町に生まれ育ったことを誇りに思い、愛着を持ち続けられる「佐用町」となるよう、皆様とともに歩んでまいります。今年には記念すべき年であるとともに、新たなスタートラインに立つ年でもあります。皆様には、佐用町の未来のため、魅力あるまちづくりに、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



歴史を守り伝える
都から山陰地方への街道にあった佐用町は、文化の行き交う地として栄え、数々の遺跡が残っています。貴重な遺跡や文化を守り伝えています



きらめく子どもたち
豊かな自然に育まれた子どもたちの目は輝いています。子どもたちが元気に成長するための子育て支援サービスや教育環境が整っています

未来が見える

佐用のええとこ

豊かな自然に囲まれた佐用町は、人が人を思いやる絆で結ばれています。町を包む温かい気持ちが、明るい未来をつくれます



暮らしやすい福祉のまち
地域の絆をもとに、高齢者や障がい者への社会福祉サービスが充実。ボランティアの輪が広がっています

**おいしい地元の
取れ立て野菜**
千種川が育んだ豊かな大地で、山間地の特色を生かした農産物を生産しています。地元の食材は栄養価が高く、安心しておいしくいただけます



安全安心なまちづくり
平成21年の大水害の教訓を忘れず、自助・共助・公助をもとにした災害への備えが整っています。地域の絆で、安心して暮らせるまちです

地域の伝統を守る
地域に残る伝統行事や文化を大切に守っています。四季折々のお祭りは、各地でにぎわいを見せます

